

尊厳死宣言

第1条

私 _____ は、私が将来病気に罹り又は傷害を負って、それが不治であり、かつ、死期が迫っている場合に備えて私の家族及び私の治療に携わっている方々に以下の要望を宣言します。

- 1 私の症状が、現在の医学では不治の状態に陥り既に死期が迫っていると担当医を含む2名以上の医師により診断された場合には、死期を延ばすためだけの延命措置は、一切行わないでください。
- 2 ただし、私の苦痛を和らげる措置は、最大限に実施してください。そのために、麻薬などの副作用により死期が早まったとしてもかまいません。

第2条

私に前条記載の症状が発生したときは、私の主治医や家族、その他の親族、友人によって私の意思が尊重され、私が人間として尊厳を保った安らかな死を迎えられることを強く望みます。

この証書の作成に当たっては、あらかじめ私の親族である次の者の同意を得ています。

(続柄)

昭和 年 月 日生

第 3 条

この宣言による私の要望を忠実に果たしてくださる方々に深く感謝申し上げます。そして、その方々が私の要望に従って執られた措置の全ての責任は、私自身にあります。私は、私の家族や医師の方々が、この宣言による私の要望に従って執られた措置について責任を問われることのないよう、強く希望します。

第 4 条

この宣言は、私の精神が健全な状態にあったとき、熟慮の末にしたものです。従って、私の精神が健全な状態にあるときに私自身が撤回しない限り、私が死を迎えるまで有効です。

以 上